

子育て支援

✿子育て支援センター「にこにこ」

子どもを自由に遊ばせながら、子ども同士、親同士が友達になったり、育児の不安や悩みを語り合ったり、情報交換する場です。（*毎月のイベント情報は子育て情報誌「ういず」に掲載されています。市のHPからも閲覧可能。）

【開所日】週3日 10時～15時
*行事により開所日が異なります。毎月発行の子育てカレンダーで確認してお越しください。

【場所・問い合わせ】
糸島市交流プラザ二丈館1F（二丈深江1360）
092-323-1111

<にこにこ広場>
火・水曜日：10時～15時 木曜日：13時～15時

<にこにこ教室>
木曜日：10時～12時 1ヶ月に2回程度



✿深江通学合宿

深江コミュニティセンター「こもれび館深江」では、毎年「通学合宿」という取り組みが行われます。4泊5日コミュニティセンターに泊まり込み、そこから通学するという合宿で、自立心を養うのが目的。食事の支度や身の回りなことなどは全部子ども達が自分でします。地域のボランティアの風呂に入る「もらい湯」なども経験し、地域との交流の場ともなっています。



✿幼稚園での子育て支援

二丈はこべ幼稚園（二丈深江602-48）では、お預かり・育児相談・情報交換の場を随時作っています。また、お子さんと保護者の方に、園庭も開放しています。ぜひ気軽に足を運んでみてください。詳細は園のHPをご覧ください。

【対象】就園前のお子さん（1歳半より）
【問い合わせ】二丈はこべ幼稚園 092-325-1669



おひさま遊ぼう会

母親同士が集い、糸島の大自然の中で0歳～6歳までの子どもたちを見守りながら遊ばせ、体験させ、個性や感受性・協調性を育てる自主保育を行っています。詳細は会のHPをご覧ください。

【日時】月～金曜日 9時半～13時半
【場所】コミュニティセンター、神社、山、川、海、公園



保育所での一時預かり

急用の時、保育所に入所していない子どもを一時預けることができます。時間・料金などは市のHPを参照して、直接保育所にお問い合わせください。

糸島市ファミリー・サポート・センター（いとしまファミサポ）

子育ての援助をしてほしい人と子育ての援助をしたい人が会員となって、子どもの預かりなど、一時的な子育てを助け合う有償ボランティア事業です。

【問い合わせ】092-332-8717

病児・病後児保育施設「コアラ」

仕事などで保護者が昼間留守にする場合、病気の回復期、または病状の急変が認められない状況にあるお子さん（生後3か月～小学6年生まで）を一時預かります。【問い合わせ】092-322-9720



近隣の直売所



●産直きらら

【場所】二丈深江598-1
【営業日時】10時～18時
第3火曜日定休日
【電話】090-9072-5544



●福ふくの里

【場所】二丈福井6333
【営業日時】9時～17時
盆正月定休
【電話】092-326-6886

近隣の水汲み場

●伽藍温泉スタンド「粋透水」

【場所】二丈深江2545-4
【料金】20L 100円 【時間】6時～23時（年中無休）

●万蔵鉱泉「希望の水」

【場所】二丈深江2035-1 ユートピア深江マンション横
【料金】10L～20L前後 100円
【時間】24時間

●二丈温泉「きららの水」

【場所】二丈深江598-1
【料金】18L前後 100円 【時間】6時頃～22時



深江の山歩き



深江校区周辺には、二丈岳・女岳・浮獄・十坊山など、昔から登山や沢登りで親しまれている山が多くあり、春から秋にかけては「アケボノソウ」「ツルリンドウ」などいろいろな花が咲きます。また、登山後に「きららの湯」や「まむしの湯」で汗を流せるのも魅力の一つです。

市では、皆さんの山歩きのお供として『糸島の山歩き』という登山マップを作成し、観光協会などで配布していますので、ぜひ活用ください！（マップは市HPでもご覧になれます）



市内を巡る暮らしに便利な交通MAP！

JRやバスなどの市内公共交通機関の路線図、時刻表を掲載した「糸島市公共交通ガイド」を電子ブックで見ることができます！



地域のてびき〈深江校区〉

発行：糸島市ブランド・学研都市推進課 ☎ 092-332-2079 （*令和2年4月作成）

地域のてびき



深江（ふかえ）校区



深江（ふかえ）校区



- a = 湊町
- b = 祇園町
- c = 深江西町
- d = 深江東町
- e = 本町
- f = 深江新町

基本情報

●最寄駅：JR筑前深江駅

●人口：5,220人 ●世帯数：2,272世帯

●行政区名：松末（ますえ）/ 下松末（しもますえ）
 片山（かたやま）/ 湊町（みなとまち）
 祇園町（ぎおんまち）/ 深江新町（ふかえしんまち）
 深江西町（ふかえにしまち）/ 深江東町（ふかえひがしまち）/ 福永（ふくなが）
 塩屋町（しおやまち）/ 古家町（こがまち）/ 本町（ほんまち）/ 元町（もともち）
 南町（みなみまち）/ 道元（どうげん）/ やよい野（やよいの）
 白浜町（しらはまちょう）/ 宮小路堂山（みやこうじどうやま）/ 淀川（よどがわ）

●小中学校：深江小学校 / 児童数260人・学級数12
 二丈中学校 / 生徒数222人・学級数10

※人口・世帯数は令和2年2月末、小中学校の情報は令和元年5月末現在



上 / 目かくし女相撲 下 / 深江神幸祭

👍 ここが深江校区の特長！

花火

大会や盆踊りなど多くのお祭りが催され、伝統文化の継承及び発展に努めている地域です。区画整理された農地で、米や麦、県下有数のブロッコリーの産地として、盛んに農業が営まれています。二丈地域の中心地で、商業施設、小中学校、図書館等があり暮らしやすい地域です。



◆淀川天神社の「百々手祭（ももてまつり）」

五穀豊穡・厄払い祈願の弓射後、各戸の代表がお手製の弓矢を持ち寄って矢を射て、最後は野に向けて矢を放ちます。その後はメインイベントの大飯喰らい！たくさん食べさせようとする給士役と、蓋をして終わりにしようとする参加者とのやり取りが笑いを誘います。結婚や新築などのお祝い事があった人には、頭から水をかけるなど、とてもユニークなお祭りです。

◆深江川祭り

子どもの水難よけと健やかな成長を願う夏祭りです。子どもたちは前日から竹を切り出し、浜辺に祭壇を作ります。夜はみんなで夕食を食べ、花火をしたりして過ごします。高学年の子どもたちはそのまま自治公民館に泊まり、翌朝の神事に備えます。終わった後、竹の祭壇は海に流され、深江の海開きとなります。

◆深江神幸祭

深江神社で行われる五穀豊穡大漁祈願祭。深江神社より大行列さながらに列をなして街中を進み、海岸では大漁旗を掲げた漁船がパレードします。

◆ふいご大祭 目かくし女相撲

松末五郎稻荷神社で開催される五穀豊穡祈願祭。女性の力士が、七福神の頭巾をすっぽりと頭からかぶって土俵に膝をつき、手さぐりで相手を押し倒すという大変ユニークな行事で、境内は笑いが絶えない一日となります。目かくし相撲で世渡りの難しさを表現しています。

◆深江海水浴場

JR筑前深江駅から徒歩10分の深江海水浴場は、遠浅の海岸が全長700mにわたって続いています。砂浜も広いゆっったりと海水浴を楽しめ、子ども連れにもおすすめのスポット。海の家もあり快適に過ごすことができる上、5月から10月までは地引網体験もできます。「深江の環境と自然を守る会」を中心に、地域としての海岸清掃も積極的に行っています。多い時には500人以上集まり、小中学生や企業の方も参加して海岸をきれいにしています。



◆二丈温泉 きららの湯

日本有数のラドンを含む糸島唯一の天然温泉「きららの湯」は、神経痛・疲労回復をはじめとする様々な効能で知られています。家族風呂やお食事処もあり、温泉のお湯を毎日入れ替えているため安心して利用できます。新鮮な食材が並ぶ産直も併設されています。



左/ きららの湯 右/ 深江海岸

◆校区・行政区とは？

糸島市には小学校が16校、中学校が6校あり、小学校の通学範囲を「小学校区（校区）」といいます。また、市からの連絡文書の配布・回覧など市政の円滑な運営を図るため、市域を163の「行政区」に分けており、各行政区内では自治組織（自治会・町内会）が形成されています。主に小学校区・行政区単位で、お祭り、伝統文化の継承、清掃活動、安全パトロールなど、安心して住みよいまちづくりのため、様々な地域活動が自主的に取り組まれています。特に、大規模災害など、いざというときに頼りになる「地域のきずな」を大切に、地域住民の連帯意識の向上に努めています。



◆自治組織に加入するには？



加入は、お住まいの地域の自治会長に申し出てください。お住まいの自治会長がご不明なときは、糸島市地域振興課（092-332-2062）までお問い合わせください。新しいまちでのコミュニケーションの第一歩として、住みよい地域づくりのために様々な活動を行っている「自治組織（自治会、町内会）」に加入しましょう！

※自治組織によって金額は異なりますが、地域交流活動や環境保全活動費等として、自治会費や入会費を納める必要があります。詳しくは自治会長へお問い合わせください。

◆行政区長さん、地域コーディネーターさんがいます！

各行政区には、その区をとりまとめる区長さんがいます。また、生活に密着した地域の情報提供や、日々の生活に関する不安や疑問の解消を目的に、地域コーディネーターさんも配置しています。区長さんや地域コーディネーターさんに聞いてみたいことがあれば、お気軽に糸島市ブランド・学研都市推進課（092-332-2079）までお問合せください。

移住者の声

よく行くのは地元や加布里のスーパー。直売所「福ふくの里」も時々買い物で利用します。野菜や果物が新鮮ですね。日用品は二丈。深江のホームセンターが多いですね。水は井戸水を中心に使っているのでそれほど高くないですが、トイレの汲み取りが毎月の支払とてあります。深江の海岸は近いです。周囲に思い立ったら散歩がてらに出かけます。周囲の人はシニア世代が多く、子どものことを孫のように可愛がってくれます。JR筑肥線は加布里から深江の間は風が強く、遅れたり止まったりすることがよくあり、JRでの通勤には注意が必要です。普段は深江からだと座れるので、仕事と家庭の切り替えができる時間になりますね。

深江校区在住・40代女性